

三条技能創造大学開設検討委員会（第11回）

議事概要

1 開催日時 平成31年4月25日（木）午後4時～5時

2 場 所 三条市役所 三条庁舎4階 第1委員会室

3 出席者 [委員]（敬称略）
高橋勉（委員長）、兼古耕一（副委員長）、アハメド・シャハリアル、
齋藤一成、木村栄一、勝見悦行の各委員（6名）

[事務局]

高等教育機関設置推進室

坂田室長、今井次長、相場次長、樗澤主査、草野主任、坂井専門員、
田代専門員、若木専門員

商工課

瀬戸主幹

4 傍聴者 なし

5 報道機関 新潟日報社、三條新聞社、越後ジャーナル社

6 配付資料

- ・資料1 三条技能創造大学の学則（案）について
- ・資料2 工学実習及び工学実験（案）について

7 会議概要

(1) 開会

(2) 議事

[学則について]

- 事務局から、配付資料に基づいて、「学則について」の説明があった。
- 各委員による意見交換が行われた。主な意見は次のとおり。
- ① 入試制度が大きく変わるため、入学試験の実施方法など現段階で規定するのは難しいと思うが、今後、細かな事項についても考えてほしい。
- ② 履修科目の単位数や成績については、一般的な大学に準じて作られているが、

細かな事項に関する規程も必要となる。

- ③ 留年した場合の長期インターンシップに関する事項や、同じ学年に留まることができる期間など状況に応じた細かな規程が必要となる。
- ④ 学位の名称案については、工学部であれば「学士（工学）」が一般的と思われるが、「学士（技術）」や「学士（テクノロジー）」については、認可申請の際に意見が出る可能性を考えて対応等を考えていた方が良い。

[工学実習及び工学実験について]

- 事務局から、配付資料に基づいて、「学則について」の説明があった。
- 各委員による意見交換が行われた。主な意見は次のとおり。
- ① 単位について、資料では15週で1単位となっているが、文部科学省では16週で1単位としているため、変更した方が良い。
- ② 企業での長期実習の前に、実践的な経験を積み、安全の感覚を養わなければならないため、1年生の後期から実習を行うのは良いと思う。
- ③ 加工に関する実験は、早い段階で安全性に関するセンスを身に付けることは重要だが、大学における装置の大きさや安全性の問題から、プレスでの作業は危険を伴うため、専任の教員が決定した後に詳細な内容について検討した方が良い。
- ④ 設計や製図については、大学の教員が教えるよりも地元の産業界などに協力いただき、経験豊かな方から指導してもらった方が良い。
- 事務局から次回開催について説明があった。

(3) 閉会

了